

黒字だからこそ断行

高井伸夫弁護士の

人事労務 散歩道



22

2011年10月号より)を定着させる一方で、能にいくらでも書いてあるのリーマン・ショックに
 なのである。人事・労務力不足の者や能力の賞味し、労働法に詳しい弁護士による業績不振に対処する
 問題を専門とする私の立場が切れた者には、大士であればきちんと説明ために、解雇せずに大不
 場からいえば、日本の経幅な賃金ダウンを可能にしてくれるものであつ況を乗り切るための賃金
 営者が現在直面しているするルールを、就業規則で、私が敢えて述べる意カットを従業員にお願
 喫緊のテーマは、賃金下等のなかに適切に取り込義は乏しいだろう。
 ウンの断行である。まなければならぬ。私が指摘したいのは、には利子を付けて減少分
 一部の新興国を除いうでなければ、それこそ経営者には、判例・法律を返還すると明言して危
 て、日本を含む世界経済3時間で落城してしまうでなく、経営力による賃金ダウンを常に意識して
 は長期停滞時代に入り、各企業は賃金ダウンやむ世界でいうと、(1)就業規経営に当たってもらいた
 はあつという間に終焉を迎える恐れすらある。まなしの状況にあるといっ

日本が成熟社会から黄め、黄昏れ、老化を迎え、スピードが加速し、経営て、日本を含む世界経済
 昏社会へと移行しつつある。人間も組織も企業もはあつという間に終焉を迎える恐れすらある。まなしの状況にあるといっ
 感ずることである。国家もこの宿命からは逃
 今年のノーベル物理学 れようがな
 賞受賞者の業績は、宇宙 い。不世出の
 の膨張速度が加速してい 大天才ステイ
 ることの発見たそうだ ープ・シヨブ
 が、宇宙はビッグバンに ても、ITと
 よって約137億年前に デザインを融
 誕生し、膨張し続け、い 合させた世界
 ずれ終焉を迎えるといわ を疾走し、56歳の若さで
 れている。そこに存在す 夜空の星となった。
 るすべてのものもまた同 宇宙の加速化をなぞる
 様に、誕生し成熟へと成 かのようグローバル化
 長し続け、そして枯れ始 は一挙に進み、あらゆる

賃金ダウンを考える(1)―加速社会の経営判断

法律論に捉われるな

経営者の「経営力」前提に

さ「以前は『築城3年 てよい。「ソフト化」人 金減額の問題等々、多岐
 落城3日』だったのが、 材のグローバル化」に伴 にわたる論点がある。
 最近では『築城3年落城3 っ、賃金システムは必 これらについては裁判
 時間』(日本電産・永守 然的に変容を迫られてい 例があり、これを受けた
 重信社長談「WEDGE」 るのである。優秀な人材 法律論は労働法の教科書
 2011年10月号より)を定着させる一方で、能にいくらでも書いてあるのリーマン・ショックに
 なのである。人事・労務力不足の者や能力の賞味し、労働法に詳しい弁護士による業績不振に対処する
 問題を専門とする私の立場が切れた者には、大士であればきちんと説明ために、解雇せずに大不
 場からいえば、日本の経幅な賃金ダウンを可能にしてくれるものであつ況を乗り切るための賃金
 営者が現在直面しているするルールを、就業規則で、私が敢えて述べる意カットを従業員にお願
 喫緊のテーマは、賃金下等のなかに適切に取り込義は乏しいだろう。
 ウンの断行である。まなければならぬ。私が指摘したいのは、には利子を付けて減少分
 一部の新興国を除いうでなければ、それこそ経営者には、判例・法律を返還すると明言して危
 て、日本を含む世界経済3時間で落城してしまうでなく、経営力による賃金ダウンを常に意識して
 は長期停滞時代に入り、各企業は賃金ダウンやむ世界でいうと、(1)就業規経営に当たってもらいた
 はあつという間に終焉を迎える恐れすらある。まなしの状況にあるといっ

前掲の日本電産・永守 本コラムは、原則とし
 社長は、2008年9月 て毎月1回掲載します。